

## メジロガモ（カモ科） 全長 41 センチ

雪のない1月となった。

例年だと大浦沼は全面氷に覆われている頃ですが、今年は田んぼも積雪ゼロで、バンやオナガガモなど多くのカモ類が羽を休めていた。

周辺の田んぼには100羽以上のハクチョウが舞い降り、餌探しに夢中です。滅多にないことだが、同じ田んぼにマガンが150羽も見つかった。この季節にはあり得ない光景です。これも暖冬の影響というのでしょうか。



目が白く見えます。（オス）名前の由来となったようです。

雪が無いので、農道はどこも車で通ることが出来ます。

沼沿い道をゆっくり進みながら双眼鏡でカモたちをぼんやり眺めていたら、4羽のキンクロハジロの中に変わったカモが1羽。ホシハジロとも似ているが、どうも違う。今まで見たことがないカモです。

私の経験不足もあるので、取りあえず撮影した映像を後で確認することにした。自宅に戻り、野鳥ガイドブックと見比べてみた。本やインターネットで検索すると珍鳥や迷鳥クラスで、名前も初めての「メジロガモ」と一致。



キンクロハジロといつも一緒。



口の中はピンク色だった。

日本野鳥の会秋田支部長にメールで写真鑑定をお願いしたら、秋田県内では初めて確認されるメジロガモに間違いないと回答いただいた。それほど珍しいカモと出会ったことは、偶然としか言いようがありません。

1月29日と翌日まで滞在してくれましたが、それ以降は見当たりません。わずかに二日間の出会いでしたが、貴重な映像を残すことが出来ました。



お尻は白いので、他のカモと区別できます。



翼の白帯がくっきり。